

Ⅲ 地域保健課の業務概要

地域保健課の業務は、保健師関係指導事業、母子保健事業、一人ひとりに応じた健康支援事業、地域・職域連携推進事業、栄養改善事業、精神保健福祉事業、肝炎治療特別促進事業、難病対策事業等を主業務として広域的専門的業務を実施している。また、管内市の保健、医療、福祉の関係機関と連携を深め、事業の推進に努めている。

1 保健師関係指導事業

保健師は、地域保健課・疾病対策課・企画課に配属され、各課の業務に対応した活動を行っている。また管内市の保健師活動への支援・調整も行っており、地域保健活動の推進と保健師等の資質向上のために、研修会や連絡会議を開催した。

2 母子保健事業

母性並びに乳幼児の健康の保持増進を図るため、管内市と連携しながら訪問指導事業、小児慢性特定疾病医療支援事業、長期療養児支援事業、思春期保健事業、特定不妊治療費助成事業、不妊相談センター事業を実施した。また、母子保健の向上及び地域の支援体制を整備するため、母子保健推進協議会を開催した。

3 成人・老人保健事業

介護老人保健施設に対し、サービスの質の確保、入所者の尊厳の保持、高齢者虐待防止法の趣旨をふまえ、看護及び栄養面等の実地指導を行った。

また、がん検診の受診率向上のため、がんおよびがん検診に関する知識の習得を目的に管内健康推進員等を対象とした講習会を開催した。

4 一人ひとりに応じた健康支援事業

生涯を通じて一人ひとりが年代や性別、健康状態や生活習慣に応じた確かな自己管理ができるよう、健康づくり支援体制を充実することを目的とし一人ひとりに応じた健康支援事業を実施した。

5 総合的な自殺対策推進事業

平成28年4月に改正自殺対策基本法が施行となり、自殺対策計画策定が市町村へ義務付けられ、その計画策定支援のため、市町村の主催会議に委員として出席した。また、身近な健康問題として自殺を捉えられるよう、啓発パンフレットを配布した。

6 地域・職域連携推進事業

地域保健と職域保健が、健康の保持増進を図るために管内の行政機関、事業所、医療保険者等が情報交換を行い、継続的な連携体制が構築できるようにするため、「地域・職域連携推進協議会」を開催した。

「働く世代のたばこ対策」として、「たばこをやめたい人への支援」「受動喫煙防止」を取組みの重点活動として、禁煙外来についての情報提供、啓発のための媒体作成や出張講座を実施し、地域保健と職域保健が連携した事業を展開した。

7 栄養改善事業

生活習慣病予防と望ましい食生活の普及・定着を図るため、健康教育・栄養指導等を実施した。食環境整備

のため、県民の健康づくりを応援する飲食店等の登録推進、食品事業者に対する栄養成分表示に関する指導等を行った。特定給食施設等に対しては、健康増進法に基づく適切な栄養管理が実施できるよう指導・支援を行った。

8 歯科保健事業

「難病及び障害者等歯科保健サービス事業」において、むし歯や歯周病などの歯科疾患に罹患しやすい精神障害者を対象に、日常の口腔ケアに関する意識を高め、歯・口腔内の健康の維持増進を図るとともに、歯の欠損等に伴うQOLの低下を防ぐことを目的として、健康教育を実施した。

9 精神保健福祉事業

「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（精神保健福祉法）」に基づく、措置入院・医療保護入院の法施行業務、精神保健福祉相談・訪問指導を行っている。また、精神障害者家族の支援として講演会、管内関係機関向けの講演会を行った。

10 肝炎治療特別促進事業

平成20年度から千葉県肝炎治療特別促進事業として、B型肝炎・C型肝炎に対するインターフェロン治療、また平成22年度から核酸アナログ製剤治療、平成23年度からインターフェロン3剤併用療法、平成26年度9月からインターフェロンフリー治療への公費負担による助成制度を行っている。加えて、平成27年度12月からインターフェロンフリー再治療へも助成が開始された。

11 難病対策事業

平成27年1月より施行された、難病の患者に対する医療等に関する法律（難病法）に基づく医療費助成業務を行っている。

難病患者やその家族が抱える医療や療養生活に関する問題等に対しては、医療・福祉関係者による会議への出席や研修会の開催、訪問相談員の派遣、保健師による相談（電話や窓口面接）や訪問指導を実施し、在宅療養支援を行った。

12 市町村支援

管内各市の健康増進計画・虐待防止・自殺対策等に委員として出席し、専門的・広域的な視点から支援している。

また、保健師、栄養士、その他母子保健推進員等を対象とした研修会を開催し、地域保健活動の推進と資質の向上を図った。

13 保健所保健・福祉サービス調整推進事業

保健・医療・福祉関係者の連携強化や地域における人材確保・知識の普及啓発等を行うことで、在宅療養者に対する支援体制の推進を図ることを目的に、昭和63年4月に制定された「保健所保健・福祉サービス調整推進事業実施要綱」に基づき実施した。

1 保健師関係指導事業

(1) 管内概況

健康福祉センターの保健師は地域保健課及び疾病対策課に配属され業務分担で活動し、平成29年度の管内保健師就業状況は、健康福祉センター16名、松戸市64名、流山市30名、我孫子市23名の計133名である。母子保健・思春期保健・地域職域連携推進事業・一人ひとりに応じた健康支援・市町村支援・精神保健福祉・感染症対策・難病対策等の分野で役割を担い、業務の推進を図った。住民への身近な対人サービスについては、主に市の保健師が対応し、その充実に努めている。

表1－(1) 管内保健師就業状況（平成29年4月1日現在）

(単位：人)

区分 年度	総数	保健所	市 町 村			
			保健衛生	福祉	介護保険	その他
平成27年度	127	16	76	7	19	9
平成28年度	130	16	80	6	19	9
平成29年度	133	16	83	7	21	6
松戸市	64	－	48	1	9	6
流山市	30	－	21	2	7	0
我孫子市	23	－	14	4	5	0

(2) 保健所保健師活動

保健師活動状況は、表1－(2)のとおりである。

表1－(2) 家庭訪問等個別指導状況 (平成30年3月31日現在)

(単位：件)

種別	区分	家庭訪問		訪問以外の保健指導			個別の連携・連絡調整	
				面接		電話		メール
		実数	延数	実数	延数	延数	延数	延数
総数		274	554	1,562	1,882	6,296	4,690	304
感染症		63	91	57	137	2,262	8	16
結核		154	375	246	421	3,008	11	55
精神障害		5	6	6	8	18	-	-
長期療養児		21	42	597	635	257	1	139
難病		30	39	72	92	383	5	91
生活習慣病		-	-	1	1	9	-	-
その他の疾病		-	-	4	4	72	-	1
妊産婦		-	-	-	-	6	-	-
低出生体重児 (未熟児)		-	-	-	-	-	-	-
乳幼児		-	-	1	1	11	-	2
その他		1	1	578	583	270	4,665	-
訪問延世帯数		272	482					

(3) 保健師関係研修(研究)会実施状況

ア 管内保健師業務連絡研究会

表1－(3)－ア 管内保健師業務連絡研究会実施状況

開催年月日	テーマ	主な内容	参加人員
平成29年 5月22日	平成29年度の事業計画と担当業務についての情報交換	① 平成29年度管内保健師等業務連絡研究会実施計画について ② 平成29年度各所属の重点・新規事業の紹介 ③ 情報交換	42人
平成29年 9月5日	保健師業務の基本を学ぶ	① 講義「保健師業務の基本を学ぶ」 講師 千葉県立保健医療大学 准教授 雨宮有子氏 事例報告及び助言指導・意見交換	19人

平成 29 年 10 月 16 日 午前	日々の保健師活動の質の向上を図る	① 講義「保健事業の評価について」 講師 千葉県立保健医療大学 准教授 雨宮有子氏 ② 検討及び講評	10 人
平成 29 年 10 月 16 日 午後	プレゼンテーションについて学ぶ	① 講演 「保健師に求められるプレゼン力の向上」 講師 国民健康保険中央会 調査役 鎌形喜代美氏 ③ グループワーク	11 人
平成 30 年 1 月 5 日	保健師のキャリアラダーにおける自己の達成状況を確認する	① 講義「保健師に求められる能力」 講師 千葉県立保健医療大学 准教授 雨宮有子氏 ② 保健師業務研究の発表	41 人

イ 所内保健師研究会

表 1 - (3) - イ 所内保健師研究会実施状況

開催年月日	主な内容	参加人員
平成 29 年 5 月 16 日	・所内研及び管内研の年間予定について ・各課の業務計画・業務予定 ・現任教育について	15 人
平成 29 年 8 月 8 日	・医療機関立ち入り検査について ・各課の業務計画・業務予定 ・千葉県保健師活動指針・現任教育マニュアルの活用	12 人
平成 29 年 11 月 21 日	・現任教育（新任期保健師目標シート） ・各課からの連絡・情報交換 ・地域の災害対策	14 人
平成 30 年 2 月 20 日	・現任教育（新任期保健師の目標シートの達成状況） ・来年度の事業について	13 人

ウ 保健所保健師ブロック研修会

表 1 - (3) - ウ 保健所保健師ブロック研修会実施状況

開催年月日	主な内容	参加人員
平成 30 年 2 月 9 日	講演 「看護職におけるモチベーションマネジメント」 講師 看護コンサルティングファーム NKN 代表 北浦 暁子 氏	16 人

(4) 管内看護管理者研修会

表1－(4) 看護管理者研修状況

開催年月日	主な内容	参加人員
平成29年 8月3日	講演「イライラ・怒りにふりまわされないために感情のコントロールをアンガーマネジメントで学ぶ」 講師 カウンセリングオフィスサンシャイン 主宰 美野 直子 氏	81人

2 母子保健事業

(1) 母子保健推進協議会

管内の母子保健施策を効果的に推進するため、医師会・助産師会・医療機関等の代表者及び管内市の関係者から構成する母子保健推進協議会を設置している。

表2－(1) 母子保健推進協議会実施状況

開催年月日	委員数	主な協議内容
平成30年1月18日	19人	① 管内母子保健の概況について ② 各市における産後ケア事業の実施状況について ③ 医療機関等における産後ケアの取組みについて ④ 出産から子育て期までの切れ目ない支援のための連携について

(2) 産後ケア連絡調整会議

産後ケア事業等にかかわる関係機関と市町村間の連携体制の構築や情報提供を図ること等により、市町村が産後ケア事業等を実施するための体制整備を推進することを目的とする。

表2－(2) 産後ケア連絡調整会議実施状況

開催年月日	参加者数・職種	主な協議内容
平成29年5月30日	24人 保健師等	① 各市における産後ケアの取組 ② 病院、助産院における産後ケアの取組 ③ 産後ケアにかかる関係機関と行政機関の連携体制について
平成30年1月18日 (母子保健協議会を兼ねる)	19人 医師、保健師、看護師	① 管内母子保健の概況について ② 各市における産後ケア事業の実施状況について ③ 医療機関等における産後ケアの取組について ④ 出産から子育て期までの切れ目ない支援のための連携について
平成30年1月18日	48人 助産師、看護師、保健師、社会福祉主事	講演「自治体と進める産後ケア～人生のスタートを支えるために～」 講師 東邦大学大学院 看護学研究科 福島富士子氏

(3) 母子保健関係研修会

管内の母子保健推進員の資質の向上を図るために研修会を開催した。

表2－(3) 母子保健関係研修会実施状況

研修会の名称	開催年月日	参加者数・職種	内 容
母子保健推進員研修会	平成29年 6月28日	174人 健康(づくり)推進員、保健師	講演 「育てにくい子への接し方、関わりにくい親への支援」 講師 千葉県精神保健福祉センター 臨床検査課長(医師)石川 真紀氏

(4) 人工妊娠中絶届出

母体保護法第25条の規定により医師から届出がなされた人工妊娠中絶実施報告に基づいた妊娠週数別・年齢階級別の届出数は表2－(4)のとおりであった。ただし、届出数には管外在住者分も含まれる。

届出総数については、平成26年度まで1,000件を超えていたが、平成27年度以降800件台で推移している。年齢別でみると、20～24歳が187件(22.7%)と最も多く、次いで30～34歳の171件(20.8%)であった。週数別でみると、満7週以前が463件(56.2%)と最も多く、次いで満8週～満11週が329件(39.9%)であった。また、20歳未満の割合は、平成27年度7.4%、平成28年度は8.9%、平成29年度8.1%であった。

表2－(4) 人工妊娠中絶届出状況

(単位：人)

区分 妊娠週数	平成 27 年度	平成 28 年度	平成29年度									
			総 数	20 歳 未 満	20 ～ 24	25 ～ 29	30 ～ 34	35 ～ 39	40 ～ 44	45 ～ 49	50 歳 以 上	不 詳
総 数	883	860	824	67	187	157	171	150	83	9	-	-
満7週以前	499	441	463	32	97	91	101	90	44	8	-	-
満8週～満11週	350	375	329	34	85	64	60	53	32	1	-	-
満12週～満15週	11	15	10	-	4	-	4	2	-	-	-	-
満16週～満19週	15	18	13	1	-	2	3	4	3	-	-	-
満20週～満21週	8	11	9	-	1	-	3	1	4	-	-	-
不 詳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(5) 特定不妊治療費助成事業

不妊治療のうち医療保険が適用されず高額な医療費がかかる特定不妊（体外受精・顕微授精）に要する費用の一部を助成することにより、不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図ることを目的としている。平成28年1月からは、男性不妊治療の一部についても助成が開始された。また、不妊に悩む夫婦等に対し、不妊相談センター事業として平成20年度から専門職による情報提供や医療面・精神面での相談を行っている。

ア 特定不妊治療費助成制度事業

表2－(5)－ア 特定不妊治療費助成実施状況

(単位：件)

年 度	実 件 数	延 件 数	内 訳			
			体外受精	顕微授精	男性不妊	そ の 他
平成27年度	616	1,081	228	399	0	454
平成28年度	554	963	184	395	4(9)	380
平成29年度	456	726	130	308	1(1)	287

※男性不妊の件数は男性不妊治療単独の助成件数であり、()内の数値は、特定不妊治療を伴う男性不妊治療の助成件数である。

イ 不妊相談センター事業

表2－(5)－イ－(ア) 不妊相談実施状況

年 度	来所相談（専門医等）		電話相談（助産師）		来所・電話相談 (保健師)
	回数	相談人員	回数	相談人員	随時
平成27年度	12	49	12	9	38
平成28年度	11	40	11	14	37
平成29年度	11	26	9	11	66

表2－(5)－イ－(イ) 不妊講演会実施状況

開 催 年 月 日	内 容	対 象	参 加 人 員
平成29年11月15日	講演 「自分らしく生きる ～産婦人科医からのメッセージ～」 講師 ジュノ・ヴェスタクリニック八田 院長 八田 真理子	専門学校生	236人

(6) 小児慢性特定疾病医療費助成制度

小児慢性特定疾病児童等の健全育成の観点から、小児慢性特定疾病医療支援に係る医療費の一部を助成し、小児慢性特定疾病児童等家庭の医療費の負担の軽減を図ることを目的としている。

対象者：18歳未満の児童（継続認定者は、20歳の誕生日の前日まで）

対象疾患：14疾患群（701疾病）

表2－(6) 小児慢性特定疾病医療費助成受給者状況（各年3月31日現在）

(単位：件)

疾患名	平成27年度	平成28年度	平成29年度	松戸市	流山市	我孫子市
総数	585	572	596	325	168	103
1 悪性新生物	69	73	76	40	25	11
2 慢性腎疾患	40	37	32	23	6	3
3 慢性呼吸器疾患	50	50	53	42	9	2
4 慢性心疾患	129	118	125	64	39	22
5 内分泌疾患	156	144	142	71	42	29
6 膠原病	14	19	18	4	6	8
7 糖尿病	24	22	26	11	9	6
8 先天性代謝異常	14	10	12	7	4	1
血友病等血液・免疫疾患 (旧制度)	—	—				
* 9 血液疾患	19	20	19	7	10	2
*10 免疫疾患	10	8	6	3	1	2
11 神経・筋疾患	37	41	45	29	9	7
12 慢性消化器疾患	21	25	33	19	6	8
*13 染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	1	3	7	3	2	2
*14 皮膚疾患	1	2	2	2	—	—

*のついた9血液疾患・10免疫疾患・13染色体又は遺伝子に変化を伴う疾患・14皮膚疾患は、平成27年1月からの新制度で拡充された疾患である。

(7) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業（平成27年1月1日から施行）

児童福祉法第19条の22に基づき、慢性的な疾病にかかっていることにより、長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成及び自立支援を図るため、小児慢性特定疾病児童等及びその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、関係機関との連絡調整等を行う。

ア 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業（研修会、講演会、交流会等）

表2－(7)－ア 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

名 称	開 催 年 月 日	参加人数・内訳	内 容
小児慢性特定疾病相互交流事業 (親子のつどい)	平成29年 6月5日	31名(対象者とその家族、医療関係者、行政関係者等)	1. 親子でふれあうタッチセラピー 2. 交流会
こどもフェスタ inとうかつ	平成29年 10月29日	183名(当事者、医療・福祉・教育・行政関係者等)	5感にはたらきかけることをテーマにフェスタの実施(シンポジウム・スズレン・タッチセラピー・胃瘻・福祉用具・AT 展示・支援/自助グループ・子ども遊び場の各ブースの実施)
支援者研修会	平成30年 2月13日	28名(訪問看護ステーション、行政関係者等)	・講演1「小児の在宅医療 ～呼吸器疾患を中心に～」 講師 松戸市立総合医療センター 小児科医師 三好 義隆 ・講演2「医療機関における 退院支援について」 講師 松戸市立総合医療センター 医療福祉相談室 船越 智子
支援者交流会	平成30年 2月13日	15名(行政関係者等)	交流 ・各機関の役割について ・質疑応答

イ 療育相談指導事業（療育指導連絡票に基づくもの）

表2－(7)－イ 療育相談指導内容

(単位：人)

内 容	平成29年度
相 談 者 数 (延)	4
家 庭 看 護 指 導	1
食 事 ・ 栄 養 指 導	
歯 科 保 健 指 導	
福 祉 制 度 の 紹 介	3
精 神 的 支 援	
学 校 と の 連 絡	
家 族 会 等 の 紹 介	
そ の 他	

ウ 訪問指導事業（訪問相談員派遣を含む）

表2－（7）－ウ 訪問指導事業実施状況(疾患別) (単位：件)

疾 患 名	平成29年度
総 数	44
悪性新生物	1
慢性呼吸器疾患	21
慢性心疾患	8
先天性代謝異常	2
免疫疾患	1
神経・筋疾患	6
染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	5

エ 窓口相談事業

表2－（7）－エ 相談内容 (単位：件)

内 容	平成 29 年度
相 談 者 数 (延)	635
申 請 等	33
医 療	28
家 庭 看 護	565
福 祉 制 度	5
就 労	0
就 学	3
食 事 ・ 栄 養	0
歯 科	0
そ の 他	1

オ 訪問相談員派遣事業

表2－（7）－オ 訪問相談員派遣事業実施状況

年度 \ 区分	人 数	回 数	実 人 員	延 人 員
平成 29 年度	2	2	2	2

(8) 療育医療制度

療育医療（児童福祉法第21条の9）は、結核で長期療養を必要とする児童を指定医療機関に入院させて医療給付を行うほか、学用品・日用品の給付を行うものである。

平成29年度の申請者はなし。

(9) 思春期保健相談事業

臨床心理士・精神科医師による個別相談を実施するとともに、学校教諭向けに不登校や精神疾患を抱える児童生徒への支援について理解を深めることを目的に講演会を実施した。

表2- (9) -ア 思春期保健関係者会議実施状況

名 称	開 催 年 月 日	参加者	内 容

表2- (9) -イ 思春期保健事業講演会

名 称	開 催 年 月 日	参加者	内 容
思春期講演会	平成29年 12月22日	31人 管内小中高等学 校教諭、行政関係 者等	講演「子どものインターネット依存～その対処法 と予防～」 講師 独立行政法人 国立病院機構 久里浜医療センター 精神科医師 上野 文彦氏

表2- (9) -ウ 思春期保健相談

年 度	回 数	実 件 数	延 件 数	内 容
平成27年度	12	18	18	臨床心理士・精神科医師の面談による 個別相談
平成28年度	9	13	14	
平成29年度	7	10	10	

3 成人・老人保健事業

健康増進法による健康増進事業には、①健康手帳の交付②健康教育③健康相談④機能訓練⑤訪問指導⑥総合的な保健推進事業⑦歯周病疾患検診⑧骨粗しょう症検診⑨肝炎ウイルス検診⑩特定健康診査非対象者等に対する健康診査⑪特定健康診査非対象者に対する保健指導⑫がん検診があり、市が主体となり実施している。

(1) 介護サービス施設・事業所設置状況

管内には、介護老人保健施設が18施設ある。

ア 介護老人保健施設実地指導

千葉県老人保健施設実地指導要綱に基づき、3施設について実地指導を行った。

表3- (1) -ア 介護老人保健施設実地指導状況

実 施 年 月 日	介 護 老 人 保 健 施 設
平成29年7月20日	介護老人保健施設 まつど徳州苑
平成29年9月12日	介護老人保健施設 あきやまの郷
平成29年11月14日	介護老人保健施設 ハートケア流山

(2) がん検診推進員育成講習会

各市町村の健康づくり推進員、保健推進員及び食生活改善推進員等（以下「推進員等」という。）に対し講習会を行い、がん検診推進員として育成し、これらの人材の協力を得て、各地域でがん検診の声かけ運動等を実施することにより受診率の向上を図っている。

表3－(2) がん検診推進員育成講習会

開催年月日	参加者数	内容
平成29年 12月4日	23人	講演 「肺がんについて」 講師 ちば県民保健予防財団 副理事長 鈴木 公典氏

4 一人ひとりに応じた健康支援事業

(1) 健康教育事業

健康を保つためには適度な運動や適正な食生活に加えて十分な睡眠が必要である。睡眠に関する知識習得により健康増進の一助にするため、一般市民を対象とした講演会を開催した。

表4－(1) 健康教育事業

開催年月日	健康教室	参加人員
平成29年6月24日	平成29年度 健康・医療情報講座 講演 「睡眠はこころとからだのバロメーター ～よりよい睡眠が健康を守る～」 講師 国立精神・神経医療研究センター 睡眠障害センター 都留 あゆみ 氏	28人

(2) 健康相談事業

身体的・精神的な悩みを有する思春期以降の全年齢層にわたる男女を対象とし、保健師が電話相談に応じた。

表4－(2) 健康相談実施状況(電話)

(単位：件)

年度	区分	男性	女性	総数
	平成27年度		28	28
平成28年度		26	48	74
平成29年度		32	59	91

5 総合的な自殺対策推進事業

平成28年4月に改正自殺対策基本法が施行となり、自殺対策計画策定が市町村へ義務付けられ、その計画策定支援のため、市町村の主催会議に委員として出席した。

また、身近な健康問題として自殺を捉えられるよう、啓発パンフレットを配布した。

(1) 自殺対策計画策定支援のための研修会

表5－(1) 研修会の実施状況

名称	開催年月日	参加者数・職種	内容

(2) その他の事業

表5－(2) 自殺予防普及啓発物資の配布状況

配付物	配布部数	配付者
「あなたのこころ元気ですか」	531部	管内市町村職員、精神科医療機関、 看護管理者、居宅介護支援相談員等
「誰でもゲートキーパー手帳」	155部	
「気づいてください！体と心の限界サイン」(付箋)	195部	

6 地域・職域連携推進事業

地域保健と職域保健の連携により、生活習慣病予防を中心とする各種保健事業の共同実施、地域保健関係施設等の相互活用等、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制の整備を推進するため、「保健所圏域地域・職域連携推進協議会」を設置し連携を図っている。

平成29年度から「働く世代のたばこ対策」として、3年計画で取り組むこととし、その初年度として、禁煙外来についての情報提供、啓発のための媒体作成や出張講座を実施し、地域保健と職域保健が連携した事業を展開した。

表6－(1) 松戸圏域地域・職域連携推進協議会開催状況

開催年月日	参加数	主な内容
平成29年 11月30日	23名	議題 (1) 作業部会及び講演会の実施報告 (2) 各市の健康増進計画に基づくたばこ対策事業等の実施状況について (3) 今後の事業計画について (4) 評価方法について

表6－(2) 松戸圏域地域・職域連携推進協議会作業部会開催状況

開催年月日	参加数	主な内容
平成29年 6月19日	14名	(1) 各機関におけるたばこ対策の現状について (2) 千葉県及び各市の健康増進計画について (3) 今後の事業取り組みの方向性について [勉強会] 職場におけるたばこ対策
平成29年 9月26日	15名	(1) 地域・職域分野における連携について (2) 今後の取り組みについて [報告] 「受動喫煙防止対策施設管理者講習会」の内容について

表6－(3) 共同事業開催状況

開催年月日	主な内容
平成30年1月10日	出張講座 特別養護老人ホーム流山こまぎ安心館 参加 13名 「健康講座～たばこのこと知っていますか～」
平成30年2月16日	出張講座 生涯大学校東葛飾学園江戸川台校舎 健康生活学部地域活動専攻科学生 17名 「健康講座～たばこのこと知っていますか～」
平成30年3月7日	出張講座 柏労働基準協会 松戸支部・流山支部 47名 「喫煙と健康」
<p>[媒体作成]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たばこをやめたい人への支援として「やめたいあなたを応援！」A4クリアファイル 1,000枚作成 ・ホームページの更新 	

7 栄養改善事業

管内では、転入人口の増加などから年少人口が増加しているものの、平成27年の高齢化率は25.6%で、今後も上昇が予測される。特定健診の結果では、一部の市において、男性のメタボリックシンドローム該当者と高血圧症該当者が県平均より高いなどの状況が確認できており、対策が必要である。このため、食環境整備の観点から、管内の事業所給食施設における適切な栄養管理に関する調査・指導、「健康ちば協力店」の登録推進、食品事業者に対する栄養成分等の表示に関する指導等を行った。

特定給食施設等に対しては、健康増進法に基づく栄養管理が実施されるよう研修会や個別巡回による指導・支援を行った。ここ数年、保育所の新規開設が増加していることから、研修会では保育所への支援を強化している。

また、地域高齢者を支える食環境整備に関する調査の実施と、管内関係者を対象とした研修会を行った。

(1) 健康増進（栄養・運動等）事業

個別指導は、来所や電話による栄養相談において実施した。また、集団指導は、住民及び関係者を対象とした講習会・研修会を開催し、正しい知識の普及・啓発に努めた。

表7－（1）健康増進（栄養・運動等）指導状況

（単位：人）

		個別指導延人員								集団指導延人員						
		栄養指導	(再掲)病態別栄養指導	(再掲)訪問による栄養指導	運動指導	(再掲)病態別運動指導	休養指導	禁煙指導	その他	栄養指導	(再掲)病態別栄養指導	運動指導	(再掲)病態別運動指導	休養指導	禁煙指導	その他
実施数	妊産婦	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	乳幼児	1	-	-	/	/	/	/	-	-	-	/	/	/	/	-
	20歳未満 (妊産婦・乳幼児除く)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳以上 (妊産婦除く)	30	13	-	-	-	-	3	-	25	1	-	-	-	647	10
(再掲)医療機関等へ委託	妊産婦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	乳幼児	-	-	-	/	/	/	/	-	-	-	/	/	/	/	-
	20歳未満 (妊産婦・乳幼児除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳以上 (妊産婦除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

参照（地域保健・健康増進事業報告作成要領）

ア 病態別個別指導

表7- (1) -ア 病態別個別指導状況

(単位：人)

種別	区分	計	生活習慣病	難病	アレルギー疾患	摂食障害	その他
病態別栄養指導		13	10	1	-	-	2
病態別運動指導		-	-	-	-	-	-

※生活習慣病は、がん・高血圧・心臓病・高脂血症・糖尿病・肥満・貧血に関する指導をした場合に計上する。

イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

表7- (1) -イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

名称	開催年月日	対象者	参加数	内容
胃瘦のレシピ	平成29年10月29日	医療的ケア児及びその家族、支援者	83	講話及び展示 講師 東葛医療福祉センター光陽園 管理栄養士 田中花子氏、浅野恵子氏 ※東葛地域医療的ケア連絡協議会が主催し、当センターが共催する「こどもフェスタ in とうかつ」のブースとして実施

ウ 地域における健康づくり推進事業

表7- (1) -ウ 地域における健康づくり推進実施状況

名称	開催年月日	対象者	参加数	内容
事業所給食施設における利用者アンケートの実施	調査期間：平成29年11月 結果返却：平成30年2月	管内事業所給食施設のうち同意の得られた施設	6施設 582名	事業所給食施設において、利用者アンケートを実施し、その結果から各事業所で提供される食事の課題を抽出し、指導する。

エ 国民（県民）健康・栄養調査

表7- (1) -エ 国民（県民）健康・栄養調査状況

調査名	調査地区（対象）	調査年月日	調査内容等
	調査地区該当なし		

オ 特別用途食品・食品に関する表示指導・普及啓発実施状況

表7－(1)－オ－(ア) 特別用途食品・食品に関する表示指導・普及啓発実施状況

指導内容	業者への指導（相談対応を含む）・普及啓発				
	個別指導・個別相談		集団指導・普及啓発		
	実指導食品数	延指導・相談件数	回数	延対象者数	内容
特別用途食品及び特定保健用食品について	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	
食品表示基準について	21	24	-	-	
栄養機能食品について	1	3	-	-	
機能性表示食品について	-	-	-	-	
虚偽誇大広告について	7	9	-	-	
その他一般食品について (いわゆる健康食品を含む)	-	-	-	-	
	県民への指導（相談対応を含む）・普及啓発				
	個別指導・個別相談		集団指導・普及啓発		
	実指導食品数	延指導・相談件数	回数	延対象者数	内容
特別用途食品及び特定保健用食品について	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	
食品表示基準について	-	-	-	-	
栄養機能食品について	-	-	-	-	
機能性表示食品について	-	-	-	-	
虚偽誇大広告について	-	-	-	-	
その他一般食品について (いわゆる健康食品を含む)	-	-	-	-	

() 内は、特定保健用食品再掲

表7－(1)－オ－(イ) 特別用途食品許可取り扱い件数（単位：件）

内 容	取扱件数
新規許可申請受付	- (-)
消滅事由該当届出数	- (-)
申請・表示事項変更届出数	- (-)

() 内は、特定保健用食品再掲

表7－(1)－オ－(ウ) 特別用途食品に対する検査・指導件数(単位:件)

管内で製造される特別用途食品数	実検査食品数	延検査・指導食品数
- (-)	- (-)	- (-)

()内は、特定保健用食品再掲

カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導

表7－(1)－カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導状況

個 別		集団指導		
内容	延人員	内容	延回数	延参加者数
-	-	適塩の食生活	1	25

イ 給食施設個別巡回指導

表7-(2)-イ 給食施設個別巡回指導状況

	総施設数	総指導施設数	管理栄養士・栄養士配置状況								
			管理栄養士のみ いる施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいる施設		栄養士のみ いる施設		どちらもいない 施設		
			施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	
合 計	374	150	99	39	84	45	135	42	56	24	
計	計	374	150	99	39	84	45	135	42	56	24
	学校	119	39	58	19			56	18	5	2
	病院	29	29	4	4	25	25				
	介護老人保健施設	18	3	4	1	13	2			1	
	老人福祉施設	38	14	11	3	23	10	4	1		
	児童福祉施設	122	37	13	7	21	7	59	18	29	5
	社会福祉施設	6	3	1				2		3	3
	事業所	14	13	3	3	1	1	3	3	7	6
	寄宿舎	4	4							4	4
	矯正施設	1	1							1	1
	自衛隊	1		1							
一般給食センター											
その他	22	7	4	2	1		11	2	6	3	
300食 /回, 750食 /日以上 ①	計	123	48	56	21	8	7	55	18	4	2
	学校	109	36	52	18			54	17	3	1
	病院	7	7	1	1	6	6				
	介護老人保健施設										
	老人福祉施設	1				1					
	児童福祉施設										
	社会福祉施設										
	事業所	5	5	2	2	1	1	1	1	1	1
	寄宿舎										
	矯正施設										
	自衛隊	1		1							
一般給食センター											
その他											
100食 /回, 250食 /日以上 ① (を除く)	計	194	76	33	12	64	31	56	17	41	16
	学校	10	3	6	1			2	1	2	1
	病院	15	15	2	2	13	13				
	介護老人保健施設	16	3	4	1	12	2				
	老人福祉施設	30	10	9	1	19	9	2			
	児童福祉施設	99	30	9	5	19	7	44	13	27	5
	社会福祉施設	2						2			
	事業所	9	8	1	1			2	2	6	5
	寄宿舎	3	3							3	3
	矯正施設	1	1							1	1
	自衛隊										
一般給食センター											
その他	9	3	2	1	1		4	1	2	1	
その 他の 給食 施設	計	57	26	10	6	12	7	24	7	11	6
	学校										
	病院	7	7	1	1	6	6				
	介護老人保健施設	2				1				1	
	老人福祉施設	7	4	2	2	3	1	2	1		
	児童福祉施設	23	7	4	2	2		15	5	2	
	社会福祉施設	4	3	1						3	3
	事業所										
	寄宿舎	1	1							1	1
	矯正施設										
	自衛隊										
一般給食センター											
その他	13	4	2	1			7	1	4	2	

※施設に出向き個別指導した件数。

※管理栄養士・栄養士配置の記入については、「衛生行政報告例記入要領」に準じて計上。

ウ 給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導

表7-（2）-ウ 給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導（単位：件）

	給食施設開始（再開）	給食施設廃止（休止）	給食施設変更届
届出数	34	14	124
指導数	49	9	73

エ 給食施設集団指導

表7-（2）-エ 給食施設集団指導状況

名称	開催年月日	対象者	参加者数	内容
給食施設 従事者研修会	平成29年 6月2日	給食施設 従事者	210	講義1「厨房内の労働安全について」 講師 柏労働基準監督署 安全衛生課長 講義2「調理従事者の健康管理」 講師 松戸健康福祉センター 疾病対策課長 講義3「給食施設の衛生管理」 講師 松戸健康福祉センター 食品機動監視課 長 情報提供1「管内給食施設の栄養管理の状況に ついて」 情報提供2「平成27年県民健康・栄養調査結果 及び第3次千葉県食育推進計画の概要につい て」 説明者 松戸健康福祉センター 地域保健課 栄養指導員
給食施設 栄養士研修会	平成29年 9月29日	児童福祉施設に 勤務する管理栄 養士及び栄養士 等	78	講演「保育所における離乳食のすすめ方～家庭 への支援を含めて～」 講師 東洋大学デザイン学部 管理栄養士 太田百合子氏
給食施設 栄養士研修会	平成30年 3月6日	病院、介護老人保 健施設、老人福祉 施設、有料老人ホ ームに勤務する 管理栄養士及び 栄養士	79	講演「給食施設で提供する嚥下調整食～スムー ズな連携をめざして～」 講師 東京医療保健大学医療保健学部医療栄養 学科 教授 小城明子氏 事例発表①「千葉県脳卒中等連携の会における 管理栄養士の活動」松戸市立総合医療センタ ー 長谷川由美氏 事例発表②「医療と介護の同時改定に向けて～ 日本栄養士会の活動と国の動向～」松戸市立 福祉医療センター東松戸病院 佐々木徹氏 事例発表③「経腸栄養剤の種類と選択について」 柏の葉北総病院 小出千恵氏 事例発表④「在宅高齢者『食の自立支援』のため の取組～特養からの配食サービス連携を通じ て～」特別養護老人ホームアコモード 寺山伽 恵氏

(3) 健康ちば協力店推進事業

表7-(3)-ア 健康ちば協力店登録状況

29年度登録件数			累計状況	
登録件数	変更件数	取消件数	登録累計数	実登録店舗数
1	2	9	92 (内取消36)	56

表7-(3)-イ 健康ちば協力店推進事業実施状況

区分	飲食店等に対する普及啓発及び指導状況		登録後の協力店に対する指導			県民に対する普及啓発及び指導状況	
	回数	延人員	回数	延店舗数	延人員	回数	延人員
個別指導	-	-	13	13	13	-	-
集団指導	-	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	13	13	13	-	-

(4) 栄養関係団体等への育成・支援

表7-(4) 栄養関係団体等への育成・支援状況

組織状況及び活動状況			保健所による育成状況	
名称	会員数及び加入組織数	活動内容	育成内容	延育成人員
松戸保健所管内 松戸調理師会	400人	調理師の資質の向上と調理技術の研究開発を行い、公衆衛生の向上を図る事業	理事会、総会の運営助言、地域まつりにおける普及啓発活動の支援	101人
松戸保健所管内 集団給食協議会	41施設	給食運営に関する調査研究に関する事業、栄養・調理技術に関する知識の普及啓発事業等	理事会、総会の運営助言、研修会の共催、地域まつりにおける栄養相談事業の支援	86人
千葉県集団給食協議会連合会	6協議会	保健所地区協議会相互の連携を強化し、集団給食の運営と技術の改善向上を図る事業	理事会、総会の運営助言、研修会及び施設見学会の開催支援	103人

(5) 市町村への技術・助言支援等

表7- (5) -ア 市町村への技術支援、助言

名 称	開催月日	対象者	参加者数	内 容
平成 29 年度松戸市食生活改善推進協議会 委嘱状交付式・総会	平成 29 年 4 月 13 日	松戸市食生活 改善推進員	30	活動への助 言

表7- (5) -イ 管内行政栄養士研究会等の開催状況

名 称	延回数	延参加人員	主な内容
管内栄養士業務連絡研修会	1	19	(1) 講演「地域高齢者等における配食の機会 を通じた健康支援の推進」 講師 公益社 団法人日本栄養士会 専務理事 迫和子氏 (2) 情報交換 (部門別)

※ 市町村 (在宅) 栄養士研修会を含む

(6) 調理師試験及び免許関係

表7- (6) 調理師試験及び免許取扱状況 (単位: 名)

年 度	調 理 師 試 験			免 許 交 付		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	新規交付	書換交付	再交付
平成 27 年度	154	88	57.1	217	26	36
平成 28 年度	153	99	64.7	204	33	38
平成 29 年度	131	91	69.5	213	37	37

(7) その他 (各保健所の独自事業)

表7- (7) その他の事業の実施状況

名 称	延回数	延参加人員	主な内容
学生実習	4	24	講義、演習、事業見学

8 歯科保健事業

(1) 難病及び精神障害者等歯科保健サービス

表8－(1) 難病及び精神障害者等歯科保健サービス実施状況

名 称	対象者	開催月日	内容	参加人員
歯とお口の健康教室	精神科診療所のデイケア利用者等	平成30年 2月8日	講話「口腔ケアについて」 講師 富士見台歯科医院 歯科医師 岸田雄大氏 歯磨き・口腔ケア指導 講師 富士見台歯科医院 歯科衛生士 寄本美咲氏	19

(2) その他（各保健所の独自事業）

表8－(2) その他（各保健所の独自事業）

名 称	対象者	開催月日	内容	参加人員
-	-	-	-	-

9 精神保健福祉事業

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（以下、精神保健福祉法）に基づき、保健所は精神保健福祉行政の第一線機関として位置付けられおり、法律に基づく入院事務等の業務と併せ精神保健福祉相談員や保健師等による相談及び訪問をベースに専門性や広域での連携や調整が必要な事項について市町村、医療機関、障害福祉サービス事業所等の地域の支援機関と連携を図り受療援助、精神障害者の社会復帰支援、普及啓発など地域精神保健福祉活動を実施した。

(1) 管内精神科病院と入院等の状況

精神科病院1施設（病床数308床）、精神科、心療内科を標榜する診療所は18施設あり、その他一般病院3カ所で精神科外来を開設している。また精神科デイケアは4カ所ある。

表9－(1)－ア 管内病床数・入院患者の状況（平成29年6月30日現在）

(単位:件)

区分 年度 市町村	管 内 人 口	精 神 科 病 院 数	病 床 数	人 口 万 対 病 床 数	入 県 内 病 院 患 者 へ の 数	人 口 万 対 入 院 患 者 数	管内の患者の入院先(再掲)					
							圏内の病院への入院患者数				圏外の病院への入院患者数	
							管内病院		管外病院			
							数	%	数	%	数	%
平成27年度	787,794	1	308	3.9	788	10.0	401	50.9	75	9.5	312	39.6
平成28年度	795,736	1	308	3.9	788	9.9	390	49.5	79	10.0	319	40.5
平成29年度	802,058	1	308	3.8	836	10.4	124	14.8	362	43.3	350	41.9
松戸市	487,926	1	308	6.3	536	11.0	118	22.0	137	25.6	281	52.4
流山市	183,007	0	0	0.0	151	8.3	5	3.3	126	83.4	20	13.2
我孫子市	131,125	0	0	0.0	149	11.4	1	0.7	99	66.4	49	32.9
県全体	6,254,216	52	12,477	19.9	8,754	14.0	5,305	60.6	1,154	13.2	2,295	26.2

(注) 1 人口は、各年7月1日現在。(千葉県毎月常住人口調査による)

表9－（1）－イ 管内病院からの届出等の状況

(単位：件)

種別 年度	医療保護 入院届 (保護者の 同意)	医療保護 入院届 (扶養義務 者の同意)	応 急 入院届	医療保護 入院届の 退院届	措置症状 消退届	措置入院 定期病状 報告書	医療保護 入院定期 病状報告	その他
平成27年度	59		—	64	12	4	61	0
平成28年度	114		—	108	8	4	53	0
平成29年度	147		—	125	16	4	61	0

※ 1 その他は、転院許可申請0件、仮退院申請0件、再入院届0件の合計

2 平成26年度より保護者制度廃止に伴い、「医療保護入院届(保護者の同意)」の保護者を家族等(扶養義務者含む)に読み替え件数を計上している。

(2) 措置入院関係

精神保健福祉法第22条から第26条に基づいた申請・通報を受理し、措置診察の必要性を判断する為の事前調査を保健所で行っている。措置診察が必要と判断された者については、同法第27条及び第29条の2の規定に基づいて、指定医による診察を行い、措置入院及び緊急措置入院の要否が判断される。措置入院及び緊急措置入院が必要とされた者に対して、同法第29条の2の2にて移送を行っている。

表9－（2）－ア 申請・通報・届出及び移送処理状況

(単位：件)

処 理 申請通報等の別	申請・通報 届出件数	診察の必要 がないと認 めた者	法第27条の診察を受けた者			法第29条の2の診察を受けた者			法第29条の2の2の 移送業務		
			法第29条 該当症状 の者	その他の 入院形態	通院・ その他	法第29条 の2該当症 状の者	その他の 入院形態	通院・ その他	1次 移送	2次 移送	3次 移送
平成27年度	506	387	73	3	27	26	2	5	0	2	46
平成28年度	542	456	73	1	14	15	0	7	0	1	44
平成29年度	444	343	85	2	7	26	0	4	0	2	46
法第22条 一般人からの申請	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第23条 警察官からの通報	396	309	72	2	7	26	0	4	0	2	46
法第24条 検察官からの通報	12	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0
法第25条 保護観察所の長からの通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条 矯正施設の長からの通報	34	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条の2 精神科病院管理者からの届出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条の3 医療観察法に基づく指定医療 機関管理者及び保護観察所長 からの通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第27条第2項 申請通報に基づかない診察	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0

※1 「申請・通報・届出件数」は受理日で集計

2 「法第29条の2該当症状の者」は、法第27条の診察を受けた者の内数

3 1次・2次移送は、診察までの移送、3次は措置決定後の病院までの移送

4 通報件数に3件のずれがあるが、平成29年度未決分が3件あるため。

表9－(2)－イ 措置診察を受けた対象者の病名

(単位：件)

病名 年度結果	総数	統合失調症等	気分障害	器質性精神障害		中毒性精神障害			神経症性障害等	パニック障害	知的障害	てんかん	その他の精神障害	その他	
				認知症	その他	アルコール	覚せい剤	その他							
				F0		F1									
				F2	F3	F00～F03	F04～F09	F10							F15
平成27年度	143	72	12	8	5	7	1	5	6	12	2	0	5	8	
平成28年度	110	66	9	4	1	3	3	5	5	8	4	0	0	2	
平成29年度	101	71	12	2	2	1	1	2	3	3	1	0	1	2	
診察実施	要措置	88	66	10	2	2	1	1	2	1	2	0	0	1	0
	不要措置	9	3	1	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	1
緊急措置診察実施 不要措置	4	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	

※1 その他には病名不詳を含む。

2 F0～F9、G40は、世界保健機関（WHO）の国際疾病分類（ICDカテゴリー）の分類

表9－(2)－ウ 管内病院における入院期間別措置入院患者数（各年3月31日現在）

(単位：人)

入院期間 年度	総数	6カ月未満	6カ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
平成27年度	2	1	0	1	0
平成28年度	6	5	0	0	1
平成29年度	6	3	1	0	2

表9－(2)－エ 申請・通報・届出関係の相談等（各年3月31日現在）

(単位：人)

性・年齢 区分	実数	性			年齢					延回数
		男	女	不明	20歳未満	20歳～ 39歳	40歳～ 64歳	65歳以上	不明	
相談	5	3	2	0	0	1	4	0	0	18
訪問	101	61	40	0	1	33	59	8	0	265
電話	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,238

※電話相談の実数は計上していない。

(3) 医療保護入院のための移送（法34条）

精神障害者であり、かつ、直ちに入院させなければその者の医療及び保護を図る上で著しく支障があり、精神保健福祉法第20条の規定による入院が行われる状態でない、指定医による診察で判断された者を医療保護入院させるために、精神科病院に移送することができる。

表9－(3) 医療保護入院のための移送処理状況（単位：件）

年度	区分	受付件数	指定医の診察件数	移送件数
平成27年度		0	0	0
平成28年度		0	0	0
平成29年度		0	0	0

(4) 自立支援医療（精神通院）及び保健福祉制度関係

自立支援医療（精神通院）とは、精神保健福祉法第5条に規定する精神疾患を有する者で、通院による精神医療を継続的に要する者について、通院のための医療費の自己負担を軽減するものである。その自立支援医療及び、精神障害者保健福祉手帳について、平成14年から申請受付窓口は、市町村に移譲されている。精神障害者保健福祉手帳1級の者については、自動車税及び自動車取得税の減免を受けるための生計同一証明書及び常時介護証明書の交付をおこなっている。

表9－(4)－ア 自立支援医療（精神通院医療）利用者数（各年3月31日時点）

（単位：人）

年度・市町村	利用者数
平成27年度	9,895
平成28年度	10,400
平成29年度	11,081
松戸市	6,612
流山市	2,405
我孫子市	2,064

表9－(4)－イ 精神障害者保健福祉手帳所持者数（各年3月31日現在）（単位：人）

年度・市町村	級			
	計	1級	2級	3級
平成27年度	4,973	736	3,099	1,138
平成28年度	5,384	778	3,321	1,285
平成29年度	5,733	797	3,489	1,447
松戸市	3,626	458	2,215	953
流山市	1,228	169	767	292
我孫子市	879	170	507	202

表9－（4）－ウ 精神障害者福祉関係諸手続きの状況 (単位：件)

年度	区分	生計同一証明書 常時介護証明書 発行件数
	平成27年度	
平成28年度		23
平成29年度		25

(5) 精神保健福祉相談・訪問指導実施状況

精神科嘱託医による定例相談のほか、精神保健相談員や保健師による所内外の面接相談および電話相談に随時応じている。相談内容については、診療に関することや生活支援、社会復帰からアルコール、認知症と保健、医療、福祉と広範にわたる。また、必要に応じて訪問指導も行っている。

表9－（5）－ア 精神科嘱託医による定例相談

実施日	時間	場所
毎月 第1 木曜日	14：00～16：00	健康福祉センター（保健所）
毎月 第3 月曜日	14：00～16：00	健康福祉センター（保健所）
毎月 第3 木曜日	14：00～16：30	健康福祉センター（保健所）
毎月 不定期	不定期	事例により相談又は訪問を実施

表9－（5）－イ 対象者の性・年齢 (単位：人)

性・年齢 区分	実数	性			年 齢					延回数
		男	女	不明	20歳未満	20歳～39歳	40歳～64歳	65歳以上	不明	
平成27年度	481	256	225	0	15	158	230	72	6	1,005
平成28年度	410	209	200	1	11	119	216	58	6	1,240
平成29年度	334	206	128	0	5	95	175	54	5	1,248
松戸市	236	142	94	0	5	72	109	45	5	795
流山市	33	19	14	0	0	9	19	5	0	146
我孫子市	25	18	7	0	0	3	21	1	0	152
管外・不明	40	27	13	0	0	11	26	3	0	155
相談	163	101	62	0	3	43	83	29	5	368
訪問	171	105	66	0	2	52	92	25	0	880

※1 同一人により相談を3回・訪問を2回した場合、相談実数1、訪問実数1、計2となり、延回数は5回となる。

2 電話相談は計上していない。

表9－(5)－ウ 電話・メール相談延件数

(単位：件)

	計	男性	女性	不明
電話	8327	4,256	4,069	2
メール	13	9	4	0

表9－(5)－エ 相談の種別(延数)

(単位：件)

種別 区分	総数	精神障害に関する相談				中毒性精神障害に関する相談			ギャンブルの相談	摂食障害の相談	心の健康相談	思春期の相談	老年期の相談	てんかん	その他の相談	
		関診する療科	社会復帰等	生活支援	その他の相談	アルコール	覚せい剤	その他の中毒								
平成27年度	1005	467	81	172	74	38	9	3	4	0	28	12	106	0	11	
平成28年度	1240	591	97	221	76	34	14	10	1	0	37	14	132	0	13	
平成29年度	1248	475	49	109	355	46	7	9	0	2	33	7	153	0	3	
相談	計	368	114	14	49	103	23	3	1	0	1	18	3	36	0	3
	男	203	56	7	32	57	22	2	0	0	0	12	0	14	0	1
	女	165	58	7	17	46	1	1	1	0	1	6	3	22	0	2
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問	計	880	361	35	60	252	23	4	8	0	1	15	4	117	0	0
	男	483	180	26	49	138	22	3	5	0	0	14	0	46	0	0
	女	397	181	9	11	114	1	1	3	0	1	1	4	71	0	0
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表9－(5)－オ 援助の内容(延数)

(単位：件)

種別 年度	総数	医学的指導	受療援助	生活生活指導	社会復帰援助	紹介・連絡	関係機関調整 方針協議	その他
平成27年度	1,447	79	255	204	82	250	539	38
平成28年度	2,211	69	496	363	107	332	681	163
平成29年度	2,335	75	576	304	91	365	811	113

(注) 援助内容は重複あり

(6) 地域精神保健福祉関係

地域の精神保健福祉を円滑に促進するために、管内精神保健担当者会議及び管内精神保健福祉業務従事者研修会を行った。また、地域家族会の育成・支援を行っており、家族会総会に出席し、安定した家族会の運営、アドバイス等の育成支援を行った。

断酒会については、概ね自主活動が定着しつつあり、保健所はパンフレットの配架等の支援を行った。

表9－(6)－ア 会議・講演会等

会議・講演会等の名称	開催日	参加人数	対象者等
管内精神保健担当者会議	平成30年 2月2日	29人	管内市及び柏市 精神保健福祉担当
管内精神保健福祉業務従事者研修会	平成30年 2月2日	41人	管内精神保健福祉業務従事者

表9－(6)－イ 家族教室・断酒教室・ボランティア講座・心の健康市民講座等

教室・講座等の名称	開催日	受講者数		内 容
		実人数	延人数	
こころの家族教室 「統合失調症の理解と対応」	平成29年 11月17日	35	35	講演「統合失調症ってどんな病気？」 講師 千葉県精神科医療センター 井上 翔 氏
	平成29年 12月1日		31	講演「障害福祉サービスについて」 講師 松戸市役所障害福祉課 近藤 かおり 氏 講演「千葉精神保健福祉ネットの取り組み ～利用者の声～」 講師 サポートネット松戸管理者 江波戸 達郎 氏 ハピネス新松戸メンバー2名

表9－(6)－ウ 組織育成

(単位：件)

種別	総 数	家族会	断酒会	その他 (当事者グループ)
支援延件数	12	6	2	4

※1 その他1件は、患者会のイベント後援。

(7) 心神喪失者等医療観察法関係

「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」の対象者に対し、保護観察所主催の処遇検討会議に参加し、地域において訪問等の支援を実施している。平成17年から医療観察法が施行されたことに伴い、健康福祉センター(保健所)においても各種会議への参加等が求められている。

表9- (7) 医療観察法に係る会議への参加 (単位: 件)

会議種別	CPA会議	ケア会議	その他
参加回数	6	11	0

(8) その他

地域生活支援センターや権利擁護事業等の運営委員会の委員として会議に出席の形で運営に参加。また、要請に応じて包括支援センター等他機関主催の連絡会や研修等の講師としての協力、及び事例検討会議や個別支援会議への出席等を通じて関係機関との連携と精神保健福祉に関する普及啓発に努めている。

表9- (8) その他の事業

名称	回数	主な内容
日常生活自立支援事業処遇等検討委員会	2	事業報告、事例検討
西深井地域生活支援センターすみれ運営委員会	1	事業報告等

10 肝炎治療特別促進事業

B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎の治癒を目的として、平成20年度からインターフェロン治療、平成22年度から核酸アナログ製剤治療、平成23年度からインターフェロン3剤併用療法への医療費助成制度が開始され、窓口相談・申請手続き業務を行っている。平成26年度にはインターフェロンフリー治療が助成対象となり、助成対象薬剤が拡充されたことに伴い、対象者が増加している状況である。

表10－(1) 肝炎治療特別促進事業受給者状況 (単位：人)

年度・市町村	治療 核酸アナログ 製剤	インターフェロン	インターフェロンフ リー
平成27年	318	8	356
平成28年	348	3	207
平成29年	353	1	133
松戸市	203	-	80
流山市	88	1	29
我孫子市	62	-	24

11 難病対策事業

原因不明で治療方法が確立していない特定疾患56疾患の患者に対し、医療費の自己負担を助成していたが、「難病の患者に対する医療等に関する法律」(難病法)に基づく医療費助成制度が平成27年1月1日に施行された。それに伴い対象疾患は110疾患に拡充され、さらに同年7月1日には、306疾患に拡大した。

また、これらの患者やその家族が抱える医療や療養生活に関する問題等に対し、専門医による相談、保健師等による訪問指導や窓口相談を実施した。

表11－(1) 特定疾患治療研究費受給者状況 (単位：件)

年度・市町村別	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	松 戸 市	流 山 市	我 孫 子 市
疾患名 下段：重症(内数)						
総数	4	4	4	2	1	1
スモン	4	4	4	2	1	1
	-	-	-	-	-	-

表 1 1 - (2) 指定難病医療費助成制度受給者状況 (単位 : 件)

年 度 ・ 市 別		平 成 27 年 度	平 成 28 年 度	平 成 29 年 度	松 戸 市	流 山 市	我 孫 子 市
疾 患 名 下段 : 重症 (内数)							
総 数		5,584	5,836	5,361	3,174	1,210	977
1	球脊髄性筋萎縮症	9	8	9	6	2	1
		3	3	-	-	-	-
2	筋萎縮性側索硬化症	61	66	68	46	11	11
		32	31	-	-	-	-
3	脊髄性筋萎縮症	3	3	3	2	1	-
		3	3	-	-	-	-
4	原発性側索硬化症	-	1	2	2	-	-
		-	-	-	-	-	-
5	進行性核上性麻痺	36	41	55	18	16	21
		9	8	-	-	-	-
6	パーキンソン病	736	770	806	480	180	146
		112	100	-	-	-	-
7	大脳皮質基底核変性症	24	25	26	17	2	7
		9	8	-	-	-	-
8	ハンチントン病	7	7	6	4	1	1
		1	1	-	-	-	-
10	シャルコー・マリー・トゥース病	2	2	2	-	1	1
		-	-	-	-	-	-
11	重症筋無力症	140	143	140	70	47	23
		4	1	-	-	-	-
13	多発性硬化症 / 視神経脊髄炎	113	123	113	70	28	15
		30	31	-	-	-	-
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎 / 多 巣性運動ニューロパチー	21	20	16	9	4	3
		5	5	-	-	-	-
15	封入体筋炎	1	2	2	1	-	1
		-	-	-	-	-	-
17	多系統萎縮症	60	65	66	34	21	11
		24	21	-	-	-	-
18	脊髄小脳変性症 (多系統萎縮症を 除く。)	169	159	163	105	31	27
		58	56	-	-	-	-
19	ライソゾーム病	1	4	4	2	1	1
		1	1	-	-	-	-
20	副腎白質ジストロフィー	3	3	3	3	-	-
		-	-	-	-	-	-
21	ミトコンドリア病	11	12	11	5	5	1
		2	2	-	-	-	-
22	もやもや病	78	83	53	30	14	9
		6	6	-	-	-	-
23	プリオン病	-	-	1	-	1	-
		-	-	-	-	-	-
24	亜急性硬化性全脳炎	1	1	1	-	-	1
		1	1	-	-	-	-
26	HTLV-1 関連脊髄症	1	3	3	3	-	-

		-	-	-	-	-	-
27	特発性基底核石灰化症	-	-	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
28	全身性アミロイドーシス	13	16	14	6	5	3
		2	2	-	-	-	-
30	遠位型ミオパチー	1	1	1	-	-	1
		-	-	-	-	-	-
34	神経線維腫症	2	17	20	13	3	4
		-	1	-	-	-	-
35	天疱瘡	29	29	11	5	3	3
		-	-	-	-	-	-
37	膿疱性乾癬（汎発型）	6	8	7	5	2	-
		-	-	-	-	-	-
39	中毒性表皮壊死症	-	-	1	-	1	-
		-	-	-	-	-	-
40	高安動脈炎	45	46	30	18	7	5
		7	6	-	-	-	-
41	巨細胞性動脈炎	-	-	3	1	1	1
		-	-	-	-	-	-
42	結節性多発動脈炎	22	25	19	11	4	4
		1	1	-	-	-	-
43	顕微鏡的多発血管炎	58	60	64	45	10	9
		5	4	-	-	-	-
44	多発血管炎性肉芽腫症	22	23	23	18	2	3
		3	3	-	-	-	-
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	3	11	16	9	6	1
		-	-	-	-	-	-
46	悪性関節リウマチ	39	36	32	20	4	8
		16	15	-	-	-	-
47	バージャー病	20	19	11	8	2	1
		-	-	-	-	-	-
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1	1	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
49	全身性エリテマトーデス	402	418	398	241	77	80
		20	21	-	-	-	-
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	139	148	147	91	29	27
		3	2	-	-	-	-
51	全身性強皮症	168	173	157	92	30	35
		5	6	-	-	-	-
52	混合性結合組織病	51	52	47	28	10	9
		-	-	-	-	-	-
53	シェーグレン症候群	23	31	42	21	11	10
		-	-	-	-	-	-
54	成人スチル病	8	11	10	5	2	3
		-	-	-	-	-	-
55	再発性多発軟骨炎	-	1	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
56	ベーチェット病	105	108	92	60	16	16
		8	8	-	-	-	-
57	特発性拡張型心筋症	124	131	105	77	13	15

		17	17	-	-	-	-
58	肥大型心筋症	23	22	27	15	10	2
		6	6	-	-	-	-
59	拘束型心筋症	1	1	1	1	-	-
		-	1	-	1	-	-
60	再生不良性貧血	46	51	37	19	7	11
		-	-	-	-	-	-
61	自己免疫性溶血性貧血	4	5	9	4	3	2
		-	-	-	-	-	-
62	発作性夜間へモグロビン尿症	4	4	5	2	1	2
		1	-	-	-	-	-
63	特発性血小板減少性紫斑病	166	149	110	64	23	23
		1	1	-	-	-	-
65	原発性免疫不全症候群	12	11	9	5	3	1
		-	-	-	-	-	-
66	IgA 腎症	21	38	45	23	17	5
		-	-	-	-	-	-
67	多発性嚢胞腎	32	46	56	36	12	8
		1	-	-	-	-	-
68	黄色靱帯骨化症	21	22	15	12	2	1
		6	6	-	-	-	-
69	後縦靱帯骨化症	179	173	161	92	40	29
		27	25	-	-	-	-
70	広範脊柱管狭窄症	39	39	35	27	6	2
		8	8	-	-	-	-
71	特発性大腿骨頭壊死症	88	98	106	69	29	8
		3	3	-	-	-	-
72	下垂体性 ADH 分泌異常症	2	6	6	5	1	-
		-	-	-	-	-	-
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	13	11	7	4	2	1
		-	-	-	-	-	-
75	クッシング病	4	4	4	2	-	2
		-	-	-	-	-	-
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	2	2	2	1	1	-
		-	-	-	-	-	-
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	23	26	24	13	2	9
		-	-	-	-	-	-
78	下垂体前葉機能低下症	97	97	93	56	20	17
		1	1	-	-	-	-
79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	1	1	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	2	1	1	-	1	-
		-	-	-	-	-	-
84	サルコイドーシス	111	112	75	45	18	12
		13	12	-	-	-	-
85	特発性間質性肺炎	61	88	92	45	22	25
		1	-	-	-	-	-
86	肺動脈性肺高血圧症	8	9	10	5	3	2
		2	2	-	-	-	-
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	17	17	20	8	5	7

		-	-	-	-	-	-
89	リンパ脈管筋腫症	4	4	3	1	-	2
		-	-	-	-	-	-
90	網膜色素変性症	172	169	191	119	36	36
		86	82	-	-	-	-
91	バッド・キアリ症候群	3	2	1	-	1	-
		-	-	-	-	-	-
92	特発性門脈圧亢進症	1	2	1	-	1	-
		-	-	-	-	-	-
93	原発性胆汁性肝硬変	174	176	133	67	31	35
		3	2	-	-	-	-
94	原発性硬化性胆管炎	1	1	1	-	-	1
		-	-	-	-	-	-
95	自己免疫性肝炎	7	16	20	9	6	5
		-	-	-	-	-	-
96	クローン病	243	252	237	145	47	45
		8	7	-	-	-	-
97	潰瘍性大腸炎	1,155	1,142	836	488	213	135
		-	-	-	-	-	-
98	好酸球性消化管疾患	-	3	5	1	3	1
		-	-	-	-	-	-
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	-	-	1	-	-	1
		-	-	-	-	-	-
106	クリオピリン関連周期熱症候群	1	2	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
109	非典型溶血性尿毒症症候群	2	3	3	1	2	-
		-	-	-	-	-	-
111	先天性ミオパチー	-	1	1	-	1	-
		-	-	-	-	-	-
113	筋ジストロフィー	7	8	14	7	5	2
		-	-	-	-	-	-
117	脊髄空洞症	2	2	3	3	-	-
		-	-	-	-	-	-
127	前頭側頭葉変性症	-	3	7	5	2	-
		-	-	-	-	-	-
145	ウエスト症候群	2	2	2	2	-	-
		1	-	-	-	-	-
150	環状2-番染色体症候群	1	1	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
157	スタージ・ウェーパー症候群	1	1	2	-	1	1
		-	-	-	-	-	-
158	結節性硬化症	2	4	4	2	1	1
		-	-	-	-	-	-
160	先天性魚鱗癬	-	1	1	-	1	-
		-	-	-	-	-	-
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	7	11	7	4	1	2
		-	-	-	-	-	-
168	エーラス・ダンロス症候群	-	1	1	-	1	-
		-	-	-	-	-	-
171	ウィルソン病	3	5	4	4	-	-

		-	-	-	-	-	-
191	ウェルナー症候群	-	-	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
193	プラダー・ウィリ症候群	1	1	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
195	ヌーナン症候群	1	1	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
208	修正大血管転位症	-	-	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
210	単心室症	-	-	1	-	1	-
		-	-	-	-	-	-
212	三尖弁閉鎖症	-	-	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	-	-	1	-	1	-
		-	-	-	-	-	-
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	-	1	1	-	-	1
		-	-	-	-	-	-
215	ファロー四徴症	1	2	2	1	-	1
		-	-	-	-	-	-
217	エプスタイン病	1	1	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
220	急速進行性糸球体腎炎	1	2	2	-	-	2
		-	-	-	-	-	-
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	1	1	-	-	1
		-	-	-	-	-	-
222	一次性ネフローゼ症候群	22	32	55	36	9	10
		1	-	-	-	-	-
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	-	-	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
224	紫斑病性腎炎	-	1	2	-	1	1
		-	-	-	-	-	-
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	-	-	2	2	-	-
		-	-	-	-	-	-
227	オスラー病	1	4	2	1	1	-
		-	-	-	-	-	-
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	-	1	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
235	副甲状腺機能低下症	-	-	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	-	1	1	-	-	1
		-	-	-	-	-	-
254	ポルフィリン症	1	2	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
256	筋型糖原病	-	1	1	-	1	-
		-	-	-	-	-	-
257	肝型糖原病	1	1	1	1	-	-
		-	-	-	-	-	-
271	強直性脊椎炎	9	9	8	7	1	-
		1	-	-	-	-	-
279	巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びま	-	-	1	1	-	-

283	ん性病変 後天性赤芽球癆	- 1	- 1	- 1	- -	- -	- -	- 1
289	クローンカイト・カナダ症候群	-	1	1	-	-	-	1
300	I g G 4 関連疾患	2	7	12	7	2	3	
302	レーベル遺伝性視神経症	-	-	1	-	1	-	-
305	遅発性内リンパ水腫	-	1	1	1	-	-	-
306	好酸球性副鼻腔炎	5	8	14	8	5	1	
316	カルニチン回路異常症	-	-	1	-	1	-	-
326	大理石骨病	-	-	1	1	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-

※下段は旧制度による重症認定者数。

※受給者なしの疾患は省略。

(3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

表 1 1 - (3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況 (単位: 人)

年度	総数	松戸市	流山市	我孫子市
平成 27 年	17	13	3	1
平成 28 年	23	17	4	2
平成 29 年	23	17	4	2

(4) 難病相談事業

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

表 1 1 - (4) - ア 在宅療養支援計画策定・評価会議実施状況 (単位: 人)

区分 年度	支援計画 策定 実施件数	支援計画 評価 実施件数	構 成 員					
			専門医	家庭医	看護師	理学療法士	保健師	その他
平成 27 年度	8	8	2	-	28	2	13	21
平成 28 年度	13	13	4	6	38	0	43	92
平成 29 年度	7	7	3	3	28	0	19	28

イ 訪問相談事業

(ア) 訪問相談員派遣事業

表 1 1 - (4) - イ - (ア) 訪問相談員派遣事業実施状況

年度	区分	人 数	回 数	実 人 員	延 人 員
平成 27 年度		7	69	43	69
平成 28 年度		8	47	32	47
平成 29 年度		11	50	25	50

(イ) 訪問相談員育成事業

表 1 1 - (4) - イ - (イ) 訪問相談員育成事業実施状況

年度	区分	月 日	主 な 内 容	職 種	人数
平成 27 年度		平成 27 年 4 月 27 日	平成 26 年度実績、平成 27 年度計画、 神経難病患者の事例検討	看護師	5
		平成 27 年 10 月 5 日	研修会「防災対策」	看護師	3
		平成 27 年 11 月 16 日	介護保険制度、神経難病患者の事例検討	看護師	6
		平成 27 年 11 月 27 日	研修「難病患者の QOL と緩和ケア」 訪問看護ステーション管理者等と情報交換・ 事例検討	看護師	3
		平成 27 年 12 月 2 日	研修会「多発性硬化症の理解とその対応」	看護師	4
		平成 28 年 2 月 22 日	平成 27 年度の訪問支援、神経難病患者の事例検討	看護師	7
平成 28 年度		平成 28 年 4 月 25 日	平成 27 年度訪問実績・平成 28 年度訪問計画・事例共有	看護師	7
		平成 28 年 10 月 17 日	講演「東日本大震災からの経験より」 講演「災害時に利用者、職員、地域住民を守る事業継続 計画 (BCP)」 演習 (グループワーク)	看護師	3
		平成 28 年 12 月 2 日	講演「事業継続計画 (BCP) の点検とレベルアップ」 演習 (グループワーク)	看護師	2
		平成 29 年 2 月 20 日	平成 28 年度の訪問実績、訪問相談員ができる災害対策 について、訪問事例共有	看護師	5
平成 29 年度		平成 29 年 4 月 24 日	平成 28 年度訪問実績・平成 29 年度訪問計画・事例共有	看護師	8

	平成29年10月23日	講演「障害福祉制度について」 神経難病患者の事例検討	看護師 管理栄養士	3
	平成30年2月23日	平成29年度の訪問実績、事例検討、事例共有	保健師 看護師 管理栄養士	7
	平成30年3月8日	講演「在宅人工呼吸器（侵襲的陽圧換気）と災害対策」	看護師	3
	平成30年3月12日	講演「在宅人工呼吸器（非侵襲的陽圧換気）と災害対策」	看護師	2

ウ 医療相談事業 実施なし

エ 訪問指導事業

表11-(4)-エ 訪問指導事業実施状況(疾患別) (単位:件)

疾患名	平成27年度	平成28年度	平成29年度
総数	30	51	39
重症筋無力症	-	1	3
筋萎縮性側索硬化症	19	39	23
脊髄小脳変性症	2	3	3
パーキンソン病	-	2	1
多系統萎縮症	6	2	-
ミトコンドリア病	1	-	1
脊髄性筋萎縮症	2	2	-
多発性硬化症/視神経脊髄炎	-	1	2
亜急性硬化性全脳炎	-	1	-
筋ジストロフィー	-	-	4
ウエスト症候群	-	-	1
大脳皮質基底核変性症	-	-	1

オ 訪問診療等事業 実施なし

カ 窓口相談事業

表11-(4)-カ 相談内容 (単位:人)

内 容	平成27年度	平成28年度	平成29年度
相談者数 (延)	506	130	92
申請等	484	82	19
医療	10	24	20
家庭看護	5	16	42
福祉制度	3	5	5
就労	1	-	3
就学	-	-	-
食事・栄養	1	-	1
歯科	-	-	1
その他	2	3	1

※申請等に関する相談者数については、平成28年度より計上方法の定義を変更した。

キ 難病対策地域協議会 実施なし

12 市町村支援

管内各市の健康計画・虐待防止・自殺対策等に委員として出席し、専門的・広域的な視点から支援している。

表12 市町村への支援状況

項目	会議・連絡			
	会議名	回数	職種	主なテーマ
市町村 松戸市	松戸市少年センター	3	課	活動報告・事業報告
	松戸市学校保健会総会	1	課	事業計画・事業報告
	松戸市食生活改善協議会総会	1	医	事業計画・事業報告
	松戸市食生活改善協議会	1	栄	人材育成
	松戸市児童虐待防止ネットワーク会議	2	課	活動方針・活動報告・児童虐待及びDVの状況
	松戸市児童虐待防止ネットワーク実務者会議	3	保	児童虐待の状況等について情報交換・研修
	松戸市障害者計画推進協議会	2	次	障害者計画第2期計画案について
	松戸市健康づくり推進会議	3	課	健康松戸21Ⅲの事業プラン
	松戸市高齢者虐待防止ネットワーク担当者会議	6	保	活動報告・事例報告
	松戸市地域ケア会議	2	次	地域包括ケアシステムの構築

	松戸市福祉相談員及び生活支援員合同勉強会	1	精	精神疾患と障害特性、対応方法について
	松戸市自立相談支援センター及び相談センター職員学習会	1	精	精神疾患と障害特性、対応方法について
	松戸市地域自立支援協議会相談支援部会	11	精	活動報告等
	松戸圏域地域移行支援協議会	2	精	活動報告等
流山市	流山市福祉施策審議会	1	次	障害者計画の策定・介護保険料の改定
	流山市要保護児童対策地域協議会代表者会議	1	課	事業計画・事業実績報告・事例検討
	流山市要保護児童対策地域協議会実務者会議	2	保	実績報告・事例報告
	流山市高齢者虐待ネットワーク担当者会議	4	保	事例検討・研修会
	流山市母子定例会	4	保	事例検討・情報交換
	流山市介護と医療をつむぐ会	5	保	情報共有等
市 我孫子	我孫子市子ども虐待等防止対策地域協議会	1	課	協議会のあり方・事業虐待防止対策実務者会議の報告等
	我孫子市自殺対策協議会	1	保	我孫子市の自殺対策について
柏市 管内3市と	精神保健福祉研修会	1	課 保 精	精神科における治療

*職種：医（所長）、次（次長）、課（課長）、保（保健師）、栄（栄養士）、精（精神保健福祉相談員）、事（一般行政）

1.3 保健所保健・福祉サービス調整推進事業

千葉県保健所保健・福祉サービス調整推進事業実施要綱に基づき、下表のとおり開催した。

表1.3 千葉県保健所保健・福祉サービス推進事業開催状況

目的	開催年月日	主な内容	構成員・人員
乳幼児を対象とする施設における感染対策の推進	平成29年 8月21日	講演「サーベイランス 保育所における感染対策」 講師 千葉感染制御研究所 代表 柴田 幸治 氏	児童福祉施設、保育施設、幼児教育施設の管理者・看護師・保育士等、市担当課職員等 100人
高齢者福祉施設における感染対策の推進	平成29年 9月4日	報告「管内の感染症発生状況報告」(保健所) 講演「施設における感染対策～ラウンドを通して考えること～」 講師 流山中央病院 ICN 鈴木 理恵子 氏	高齢者福祉施設、地域包括支援センターの管理者・看護師・介護職員・生活相談員、市担当課職員等 133人
在宅療養をしている高齢者に対する栄養管理体制の整備推進	平成29年9 月20日	講演「地域高齢者等における配食の機会を通じた健康支援の推進」 講師 公益社団法人日本栄養士会 専務理事 迫 和子 氏	保健センター、障害者福祉センターの栄養士等、市担当課職員等 19人
乳幼児を対象とする施設における感染対策の向上を支援する体制の構築	平成29年 10月3日	講演「保育所の感染対策を向上させる意義と方法～マニュアル作成をステップに子供と地域を守る～」 講師 千葉感染制御研究所 代表 柴田 幸治 氏	保育施設の管理者・保健師・栄養士・看護師・保育士、市担当課職員等 51人
地域における感染症の理解と感染対策の推進	平成30年 3月13日	講演「医療分野における薬剤耐性 (AMR) 対策の現状とこれから」 講師 国立国際医療研究センター 副院長 AMR リファレンスセンター長 大曲 貴夫 氏	病院、診療所、薬局、老人保健施設の医師・薬剤師・看護師・検査技師等 88人